

○ 国家公務員の平均年間超過勤務時間数（直近５年分）

(国家公務員給与等実態調査)

調査年（対象年月）	組織区分	計	本府省	本府省以外
令和６年調査 （令和５年１月～１２月）		時間 230	時間 382	時間 194
令和５年調査 （令和４年１月～１２月）		219	391	179
令和４年調査 （令和３年１月～１２月）		217	383	179
令和３年調査 （令和２年１月～１２月）		213	358	181
令和２年調査 （平成３１年１月～令和元年１２月）		219	348	190

（注） １ 平均年間超過勤務時間数は、各年１月１５日現在の在職者のうち、その前年中の全期間において超過勤務手当の対象となった者１人当たりの同年１年間の超過勤務時間数である。

２ 令和６年調査の時間数は、定年引上げに伴い「一般職の職員の給与に関する法律」附則第８項により俸給月額が決定される職員（俸給月額の７割措置が適用される６０歳超職員）を除いたものである。

○ 国家公務員の超過勤務時間の時間階層別職員割合（令和６年調査（令和５年１月～１２月））

(国家公務員給与等実態調査)

組織区分	時間階層	0～360時間	361時間～	721時間～
合計 （①＋②）		% 78.3	% 21.7	% 2.7
	①本府省	53.7	46.3	12.0
	②本府省以外	84.2	15.8	0.5

（注） 定年引上げに伴い「一般職の職員の給与に関する法律」附則第８項により俸給月額が決定される職員（俸給月額の７割措置が適用される６０歳超職員）を除いたものである。